大学院進学という選択肢

2026年7月　大学院進学相談会

関西学院大学大学院経済学研究科

大学院（前期課程：修士）進学のメリット

- 経済学をより深く学ぶことができ、その成果として「**修士号**」を取得できる。
- データ処理方法や数量的手法に関する高度な専門知識を学び、**高度専門職業人**としての素養を身に着けることができる。
- 大学院後期課程に進み、「**博士号**」の取得、**大学教員**を目指すことができる。

本学経済学研究科の特色

- **優れた研究実績を持つ教授陣が揃っている**

  RePEcの経済学研究機関ランキングで、**日本で12位（私立大学では3位）**（2026年5月時点）

- **充実した少人数指導が受けられる**

  院生が少人数のため、きめ細かい指導が可能となっている

在籍者数（2026年度）

	1年生	2年生	合計
前期課程	8	10	18

	1年生	2年生	3年生	合計
後期課程	1	1	2	4

- **関学独自の大学院奨学金制度（給付型）がある**

前期課程の2つのコース

※出願時に、上記の修了方法のいずれか1つを選択する。
入学後の変更は認められないので、注意すること。

①修士論文コース【主として研究者（後期課程）を目指すコース】

- 修士１年次から指導教員による研究指導を受け、２年間で修士論文１本を完成させ提出する
- 口頭試問による修士論文審査に合格すれば、修士号を取得できる。
- 本研究科後期課程への進学を志望する場合、修士論文審査によって後期課程入学試験の口頭試問が免除される（※入学試験の英語の受験は必要）
- 指導教員は出願時に決定する。出願前に、指導志望教員に指導の可否について必ず事前確認する必要がある。
- 入試の結果「修士論文コース」での入学は認められなくても、「課題研究リポートコース」での入学が認められる場合がある。

前期課程の2つのコース

※出願時に、上記の修了方法のいずれか1つを選択する。
入学後の変更は認められないので、注意すること。

②課題研究リポートコース【主として高度専門職業人を目指すコース】

- 修士２年次から指導教員による研究指導を受け、１年間で課題研究リポート１本を完成させ提出する。
- 口頭試問によるリポート審査に合格すれば、修士号を取得できる。
- 本研究科後期課程への進学を志望する場合、後期課程入学試験の口頭試問および英語を受験する必要がある
- 指導教員は修士１年次の春学期に決定する。
  （出願時に、指導志望教員を決める必要はない。）

「修士論文コース」：志望指導教員の事前確認制度

「修士論文コース」志望者については、志望者自身の希望する研究分野と志望指導教員の研究分野が合致するかどうかについて、出願前に事前確認し、志望指導教員が指導可否を判断する期間を設ける 。

志望指導教員の事前確認のフロー

①「事前確認申請フォーム」にて申請

↓

②志望指導教員による指導可否の判断

↓

③指導可否の回答

入試毎に２回の申請機会を設ける

※志望指導教員の事前確認申請をしなかった場合あるいは事前確認申請で志望指導教員から「指導可」の回答を受けられなかった場合、「修士論文コース」で出願しても「課題研究リポートコース」志望者として合否判定を行う。

※事前確認で志望指導教員から「指導可」の回答を受けた場合でも、入学試験（口頭試問）の結果「修士論文コース」への入学が認められない場合がある。

前期課程修了生の進路

- **高度専門職業人として就職**（民間企業、公務員など）
- **後期課程（博士課程）に進学**

修了生（社会人・留学生除く15名）の進路実績（過去5年間）

就職	進学	その他	合計
8	6	1	15

修了生（留学生11名）の進路実績（過去5年間）

母国へ帰国	就職	その他	合計
2	6	3	11

前期課程修了生の方へのインタビュー

下記のQRコード、URLからご覧ください

https://www.kwansei.ac.jp/s_economics/interview/00622.html

前期課程入学試験について

一般入試　提出書類および以下の3項目にて総合的に審査

① 経済学検定試験（EREミクロ・マクロ）の提出スコア

【必要スコア】EREミクロ・マクロ:B＋以上

② 英語検定試験の提出スコア

【必要スコア】以下のいずれかのスコアを提出

TOEIC：600点以上、TOEFL-iBT：62点以上、
IELTS(Academic Module)：5.0以上、英検：準1級以上

③ 口頭試問

前期課程入学試験について

特別選抜入試A（関学経済学部生対象）

提出書類および口頭試問にて総合的に審査

※経済学検定試験（EREミクロ・マクロ）および英語検定試験のスコア提出は不要

【特別選抜入試Aの出願資格】

- 早期卒業見込みの者、あるいは通算GPAが2.6以上の者
- 「課題研究リポートコース」志望者、あるいは「修士論文コース」志望者で、学部の専門演習および卒業研究演習の担当教員を指導志望教員とする者

前期課程入学試験について

特別選抜入試B（関学経済学部生対象）

一般入試と同じく、提出書類および以下の3項目にて総合的に審査

①経済学検定試験（EREマクロ・ミクロ）の提出スコア

②英語検定試験の提出スコア

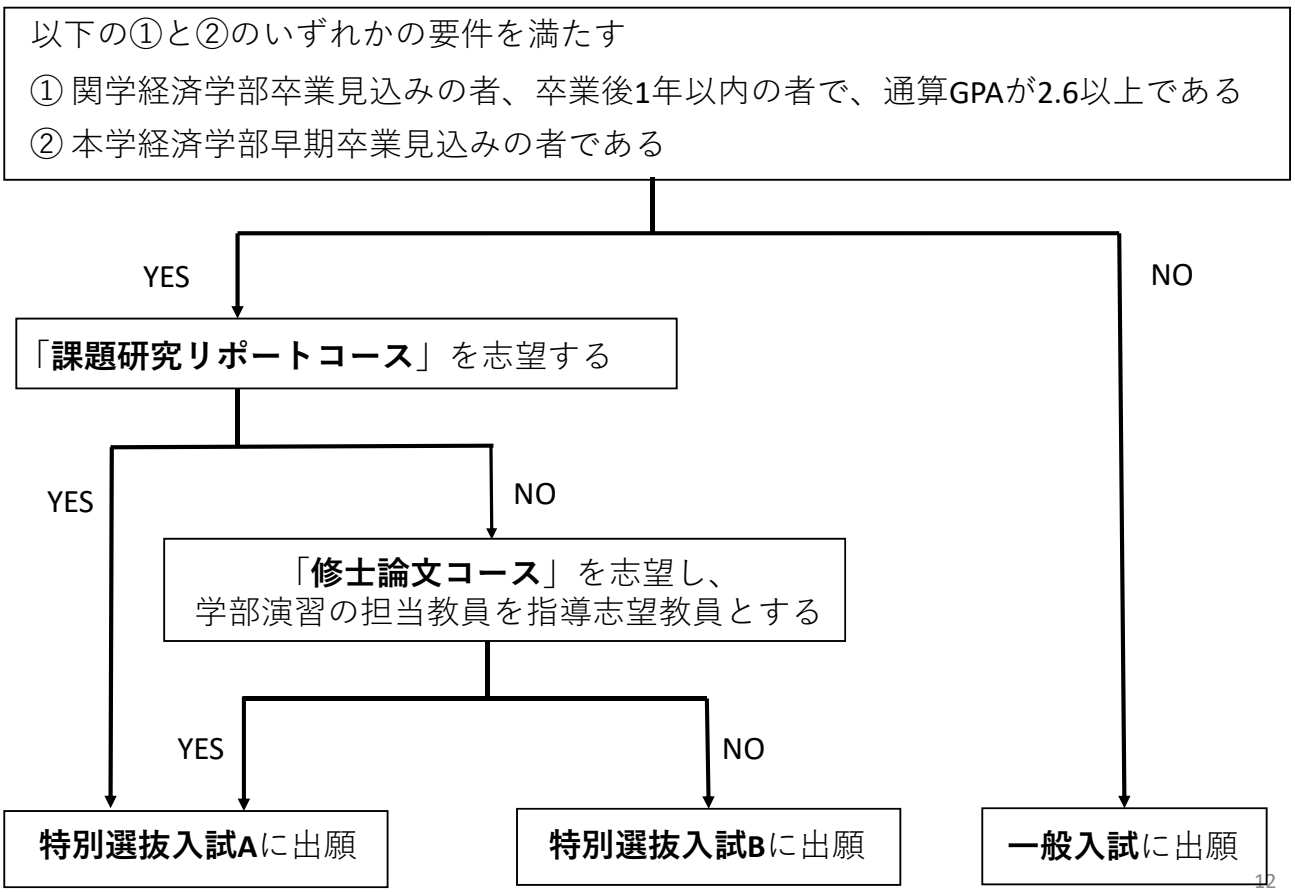
③口頭試問

※①②の必要スコアの水準は一般入試と同じ

【特別選抜入試Bの出願資格】

- 早期卒業見込みの者、あるいは通算GPAが2.6以上の者
- 「修士論文コース」志望者で、学部の専門演習および卒業研究演習の担当教員以外の教員を指導志望教員とする者

特別選抜入試A、Bの出願資格のフローチャート



前期課程（修士課程）の志望者・合格者の推移

	2022年度（2021年度実施）		2023年度（2022年度実施）		2024年度（2023年度実施）		2025年度（2024年度実施）		2026年度（2025年度実施）	
	志願者	合格者	志願者	合格者	志願者	合格者	志願者	合格者	志願者	合格者
一般	1	1	7	1	2	1	6	4	1	1
外国人留学生	7	0	6	2	20	2	7	4	23	7
特別選抜	3	3	3	3	7	5	3	3	7	5
合計	11	4	16	6	29	8	16	11	31	13

後期課程（博士課程）の志望者・合格者の推移

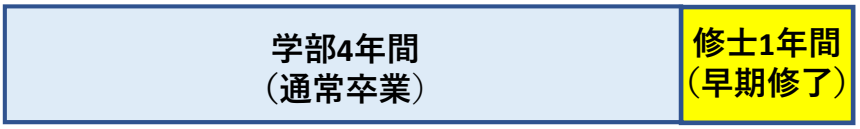
	2022年度（2021年度実施）		2023年度（2022年度実施）		2024年度（2023年度実施）		2025年度（2024年度実施）		2026年度（2025年度実施）	
	志願者	合格者	志願者	合格者	志願者	合格者	志願者	合格者	志願者	合格者
一般	1	1	2	2	1	1	1	1	1	1
外国人留学生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	1	1	2	2	1	1	1	1	1	1

関学経済学部から進学する場合は、学部・大学院の在籍期間を柔軟に選択できる

①通常



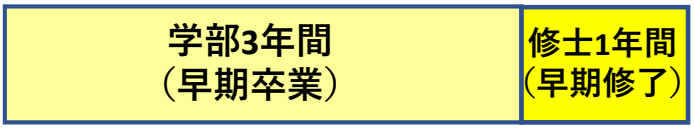
②早期科目履修制度を利用



③早期卒業制度を利用



④早期卒業制度と早期科目履修制度を利用



※修士1年間（早期修了）は、大学院での指導予定教員の許可が必要

早期卒業制度

申請時期：**3年次の履修登録時**（春または秋）

卒業条件：

①本学経済学研究科（大学院）に早期に進学を希望すること。

②以下の条件を満たすこと〔3年卒業の場合〕

※申請時点では、見込みで可。

・3年間在学（休学期間は、在学期間に算入しない）
・卒業に必要な単位（124単位）をすべて修得
・卒業単位に算入される合格科目の平均点が80点以上

③３年次に行われる本学研究科の入学試験に合格すること。

※申請時点では、見込みで可。
※入学試験については、特別選抜制度の利用可。

早期科目履修制度

学部生時に、大学院科目（**先取科目**）を**上限14単位分**まで履修できる。
（※ただし先取科目は、学部の単位には算入されない）

大学院の修了に必要な単位数は30単位なので、**大学院入学後に16単位の修得**（＋修士論文あるいはリポートの審査合格）によって、大学院修了が可能となる。

申請期間：**2年次秋学期より**年度ごとに申請
（毎学期6単位まで履修可能）。

申請要件：以下の3つの要件をすべて満たしていること

①1.5年以上在籍（休学期間は、在学期間に算入しない）
②68単位以上修得
③専門基礎科目の成績上位3科目の平均点が75点以上